

## 平成30年度第1回 理事会議事録

一般社団法人  
静岡県建設コンサルタンツ協会

1. 開催日時 平成30年4月11日(水) 15時開会 17時15分閉会

2. 開催場所 協会会議室

3. 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

会 長 森崎祐治

副会長 鈴木正之 服部剛明 藤山義修

理 事 齋 秀之 小田稔彦 小田秀昭 近藤拓己 吉田英司

監 事 杉山 博

【欠席：監事 鶴田忠男】

事務局長 村松光康

理事9名全員出席により理事会は成立。

(2) 森崎会長挨拶

(3) 定款第35条の規定により森崎会長が議長に就任。

4. 議 事

(1) 静岡県教育委員会との災害協定締結について

静岡県教育委員会と災害協定を締結することになり、平成30年3月29日(木)に、静岡県教育長室において締結式が行われ、森崎会長が出席すると共に、3名の副会長も同席された。

又、当協会と共に、静岡県建築事務所協会と静岡県測量設計業協会も締結したため両協会長も出席された。

(2) 平成29年度の事業報告と収支決算について

例年実施している事業に加え、新たに実施した産業人材確保緊急対策事業(富士山の体積をはかるコンテスト)について、資料に基づき事務・事業の流れの説明がなされた。

収支決算については、12月1日付で㈱グリーンの入会に伴い、入会金と会費が増額となった。又、9月26日事務所移転に伴い、敷金260千円と移転費用798,887円が新たに支出された。

産業人材確保緊急対策事業の静岡県補助金2,991千円を未収金として、㈱ディスタンス・インターナショナルへの委託費2,991千円を未払金として処理する。

以上の事業報告と収支決算報告について、それぞれ承認され、次の総会の議案として上程することになった。

- (3) 平成 30 年度の事業計画（案）と収支予算（案）について  
事業計画の内、平成 31 年度に発足 10 周年を迎えるため、記念事業を検討することとした。  
収支予算(案)のうち、合同事務所開設に伴い賃借料(家賃)が平成 29 年度と比べ 390 千円減額となった。  
平成 30 年度の事業計画(案)と収支予算(案)もそれぞれ承認され、総会の議案として上程することになった。
- (4) 地区選出役員候補者について  
地区から選出された平成 30・31 年度の理事候補者は、現理事の方と同じである。  
そのため、監事についても現在の 2 名の方に引続き就任をお願いすることとし、総会に議案として上程することになった。
- (5) 顧問・委員会・専門技術研究部会等のメンバーについて  
協議した結果、今回は最小限の異動で対応することとした。
- (6) 会員名簿（共通部分）について  
原案通りで了承された。
- (7) 平成 30 年度定時社員総会と運営要領について  
原案どおり了承された。
- (8) 平成 30 年度理事会開催等予定について  
原案通り開催することです承された。
- (9) 報告事項
- ア 静岡県弁護士会からの照会についての回答について  
平成 30 年 2 月 28 日、静岡市葵区の「擁壁撤去請求事件」訴訟に関するアドバイザーの照会があり、3 月 7 日付で別紙(配布資料)のとおり回答した。
- イ 元理事山本正男氏ご逝去に伴う対応について  
12 年間理事を務められており、内規に基づき対応した。
- ウ 第 14 回技術研究発表予定者等について  
平成 30 年 3 月 20 日書面審査により、理事承認を受けた発表予定者 8 名に加え、県から 2 名の特別発表を予定している。  
特別講演は現在、講師を技術研究部会において、選定中との報告がなされた。
- エ 袋井市空家等対策協議会委員の推薦について  
平成 30 年 3 月 26 日袋井市から推薦依頼を受けたので、4 月 2 日西部地区から技術研究部会都市・地方計画分科会委員 渡辺尚司氏を推薦した。
- オ 吉川雄二と楽しむ「お笑い春の互礼会」案内について  
平成 30 年 4 月 14 日(土)に富士宮市民文化会館で開催される。
- カ 天の一個人献金のお願いについて  
一口 3,000 円以上の献金依頼があった。

(10) その他

- ・産業人材確保のための企画提案募集について

平成30年度も静岡県雇用推進課より案内があったので、技術研究部会で対応を検討してもらうこととした。

以上をもって第1回理事会を17時15分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

平成30年4月11日

議長・代表理事      森崎 祐治      ⑩

監事      杉山 博      ⑩